

第7章 竹ノ塚踏切死傷惨事に関連して、半沢が作成した文書類

この章では、私が竹ノ塚踏切死傷惨事に関連して関係機関へ送付した文書やそれに対する回答書などを、紙幅の都合上、とくに重要と思われるものに限って収録しておきます。

1. 東武鉄道あて質問状と回答書など

竹ノ塚踏切死傷惨事に係る疑問点のほか、以前から未解決の問題（私が2004年に発行した資料集『東武鉄道のたばこ問題2003 - 2004』で問題提起した、車両の欠陥構造に起因する暴力事件を誘発したことなどについて、東武鉄道が施設管理者としての責任の所在を頑として認めず、利用者を暴力被害に遭わせたことについての謝罪に今なお応じていない問題など）についても取り上げています。

2. 国土交通省あて問い合わせと回答書など

国土交通省が、竹ノ塚踏切死傷惨事の発生前に、東武鉄道における手動式踏切の安全管理体制上の問題点をどこまで把握していたかの照会と、東武鉄道に対する指導監督の強化を求める要請に関する文書です。

また、自動化後の第38号踏切（竹ノ塚駅北側の小踏切）で発生した、踏切支障報知装置の欠陥に起因するインシデントが発生した事実を通報した文書も収録しました。このインシデントは、2007年2月6日に東武東上線ときわ台駅構内の踏切で発生した、自殺志願とみられる女性を助けようとした警察官が急行電車にはねられ殉職した「事故」の予兆であった可能性がきわめて高く、無視することができないと考えたためです。

3. 捜査・司法機関への働きかけ

私が独自に行った実地調査の結果などを証拠として、東武鉄道本社の職掌責任者への処罰を求める刑事告発に関する資料です。

竹ノ塚駅長などを不起訴処分とした検察官は、私が告発した東武鉄道本社の別の職掌責任者について、私が提出していた証拠資料に手をつけず、まったく捜査を行わないまま、資料一式を私に返してきました。この事件処理方に対する不服と、この検察官を罷免するよう申し立てた文書などは「番外1」の章にまとめて収録してあります。

4. 足立区議会あて陳情と、区議会事務局からの通知

竹ノ塚踏切死傷惨事の再発防止に必要な取り組みや、自動化後の踏切で手動時代よりも遮断時間が長くなったことに伴い発生している危険の是正などを求めた陳情の記録です。

このうち「東武伊勢崎線竹ノ塚駅構内の踏切の遮断時間短縮を求める陳情」の関連資料一式については、別途『東武鉄道の踏切問題に関する調査報告書』にまとめ、国立国会図書館や足立区立図書館などに寄贈しています。

陳情の本文は、足立区議会のホームページでも閲覧できます。

5. 交通権学会で発表した文書

交通権学会誌『交通権』第23号（2006年7月・発行）に掲載された、竹ノ塚踏切死傷惨事に関する記事を転載したものです。